

の話

2024年

要申込

3/9 (土)

13:30 ~ 15:30

# 電気と磁気

テレビ、電子レンジなど、電気は毎日の生活に必要ですが、その電気はどのようにして生み出されたのでしょうか？

今から200年以上前に、方位磁石のそばの電線に電気を流すとその針が触れました。電線の周りに磁場が発生し力が働いたのです。この現象は、電流・磁場・力の組み合わせによって起こりました。このことから20年後にファラデーさんは、電線を巻いたコイルの中で、磁石(磁場)を動かす(力)と、電気が流れる事(電流)を発見しました。電気は、方位磁石の針が触れるという小さな発見から考え出されたのでした。

今回はいくつかの実験を再現したり、それを利用した実験のほか発電機の原型模型もお見せします。

放送大学学生団体  
科学わくわくクラブ

講師 瀬崎勝二

第12回 科学を楽しもう!

お知らせ

次回は4月13日(土)!  
「星の一生と人間のつながり」

1791-1867



ファラデー



電気のある暮らしを作ったのは、どんな人?



マイケル・ファラデー

独学で新法則を次々発見  
今でも多くの人が慕う偉大な科学者に

- 世界ではじめてのモーターをつくる実験に成功
- 「ファラデーの電磁誘導の法則」を論文で発表
- 「ファラデーの電気分解の法則」を発見

会場：科学体験・学習広場  
(サイピア1階)

対象：小学1年生~6年生

定員：25名  
(定員になり次第締切)

参加費：ひとり100円

要申込

サイピア  
☎086-251-9752

問合せ

放送大学学生団体  
科学わくわくクラブ

学習支援担当：三宅 美郷  
☎080-1990-2429

